

方向性① 前向きに努力する中小企業に対する支援

■ 様々な経営課題の解決、販路開拓、事業承継等の支援

産業創造館における経営支援（創業・新事業創出・経営革新支援事業）【317,225千円】

- 様々な経営課題に対する各分野の専門家による相談対応。
- 経営者のためのワークショップ・セミナーの開催（創業前支援を含む）。
- 販路開拓に向けたマッチングイベントや商談会・交流会等。
- 消費者ニーズに応じた商品開発の支援。
- 円滑な事業承継に向けた総合的な支援。 など

取組実績（29年度）

- 経営全般に関する相談対応や、「事業承継」「女性の活躍促進」等の時宜に応じたテーマでのセミナー実施、販路開拓に向けたマッチングなど、企業ニーズに即応した様々なプログラムを実施。
- 大阪産業創造館における経営相談への対応件数：6,248件（コンサルタント派遣含む）
- マッチング支援プログラム開催回数：50回
- 支援サービス利用者満足度：94.6%

■ 資金面の支援

中小企業融資基金繰出金【75,321,000千円】 信用保証協会補助（代位弁済補助）【578,000千円】

- 大阪信用保証協会等と連携し、小規模企業等に対して円滑な資金調達を支援。

取組実績（29年度）

- 制度融資の保証承諾実績：251百万円
- 制度融資等の実施を通じて市内中小企業の円滑な資金調達を支援

■ 技術面の課題解決、新技術・製品開発等の支援

産業技術研究所における技術支援（産業技術研究所運営費交付金等）【1,178,669千円】

- 技術相談や試験分析、装置・機器の使用機会提供、受託研究などにより、ものづくり企業等の様々な技術課題の解決を支援。
- 技術研修（レディーメード、オーダーメード）による技術者の養成。
- 産学官連携による研究開発プロジェクト等の組成・推進を支援。
- LED照明製品等の機能・性能評価を行う「次世代光デバイス評価支援センター」、リチウムイオン電池の材料開発から試作までを「電池開発評価センター」において一貫支援。

取組実績（29年度）

- 研究開発力・技術支援力を結集、強みを融合し、一層の産業創出につなげていくため、府立産業技術総合研究所と市立工業研究所を統合し、大阪産業技術研究所として、事業を実施（4月）
- 基盤研究の成果を元に製品化につながった件数：16件
- 依頼試験及び受託研究件数：10,552件
- 産学官連携による新産業の創出を促す共同研究開発プロジェクトの組成：4件
- ※上記実績は森之宮センターの数値

■ 海外展開支援

ビジネスパートナー都市等交流事業【61,744千円】

- ビジネスパートナー都市提携（アジア太平洋地域の13の主要経済都市）を活用し、海外での事業展開・販路開拓を支援。

取組実績（29年度）

- 経済ミッション等の派遣：上海市（7月）
- 海外商談会開催：1件・3社、海外見本市出展支援：3件・18社（参考）国内商談会：3件、国内セミナー開催：2件

方向性② 地域特性に応じた商店街・ものづくり企業等への支援

■ 商店街・問屋街等の活性化支援、情報発信

商業魅力向上事業【44,482千円】

- 商店街・問屋街等が取り組む、新たな魅力づくりに向けたハード事業（施設整備・オープンモール化）、ソフト事業（にぎわい創出、空き店舗活用等）を支援。
- 市内での消費拡大プロモーションのため、一斉にイベント・キャンペーンを展開。
- 商店街、問屋街等における、活性化の取組の情報等を発信。

取組実績（29年度）

- 商店街共同施設等整備支援事業：17件、商店街等活性化支援事業：6件
- 商店街が実施するにぎわいイベントへの補助：33件、商店街への専門家や事業者の派遣：4件

地域商業活性化推進事業【19,253千円】

- 活性化に向けて協働できる多様な団体・人を掘り起し、商店街団体とマッチングするなど、「運営上の仕組み作り」を支援。

取組実績（29年度）

- 6地域で商店街団体とのネットワークづくり等を支援。

商業パワーアップ事業【29年度で事業終了】

- 商店街・問屋街等の現状や課題、施策ニーズ等のとりまとめ、セミナー・勉強会等の開催、ターゲットに応じた効果的な施策情報等を発信。

取組状況（29年度）

- 商店街への意識調査を実施。
- セミナー・勉強会等：17団体 計42回

■ 販路開拓支援

新規展示会誘致助成事業【40,000千円】

- 意欲と潜在力を持った中小企業に対して、より精度の高い商談機会の場を提供するため、今後の継続開催が期待される新規展示会の誘致助成を実施。

取組実績（29年度）

- 誘致助成件数：5万㎡規模 4件

■ 人材の確保等

ものづくり企業と工業系高校との交流会の開催

- ものづくり人材の確保につなげるため、ものづくり企業と工業系高校との交流会を実施。

取組実績（29年度）

- 交流会への参加企業数：24社、参加学校数：11校

【新規】イノベーション人材の育成・流動化促進事業【15,000千円】

- 中小・ベンチャー企業への大企業等の人材の流動化（転籍、派遣・研修等）を促進することにより、中小・ベンチャー企業の成長加速を支援。

■ 生産性向上の支援

【新規】生産性向上特別措置法に基づく認定制度の創設

- 生産性向上特別措置法に基づき、中小企業の先端設備等導入計画の認定制度を創設。（計画に基づく設備投資にかかる償却資産の固定資産税は3年間ゼロとなる）

取組実績（30年度）

- 認定申請の受付開始（30年6月）、認定件数：323件（30年9月末）

方向性③ 創業・第2創業への包括的支援

■ 創業前、成長・発展期の支援

【再掲】

産業創造館における創業支援（創業・新事業創出・経営革新支援事業）【317,225千円】

- 産業創造館における創業に関するセミナー・講座、交流会の実施。
- 創業準備活動のための総合的支援スペースの提供。
- 円滑な事業承継に向けた総合的な支援 など

取組実績（29年度）

- 産業創造館の支援事業による創業・起業件数：101件

【再掲】

産業技術研究所における創業支援（産業技術研究所運営費交付金等）【1,178,669千円】

- ものづくりによる創業をめざす方のため、実験設備を備えた創業支援研究室、開放研究室を設置。
- 産業技術研究所の研究員による技術指導・助言等を実施。

大阪市立大学における創業前支援（市立大学運営費交付金）【13,933,182千円】

- 社会人大学院（創造都市研究科都市ビジネス専攻アントレプレナーシップ研究専攻）において、ベンチャー起業家・経営者・創業支援人材の育成をめざして、経営に必要な要素を体系的に提供。

取組実績（29年度）

- 主な開講科目名、履修者数は次のとおり。
起業と経営理念 13名（前期開講）、アントレプレナーシップ論 15名（後期開講）、ベンチャー・マーケティング論 12名（前期開講）、ベンチャー財務論 7名（集中講義）、ビジネスモデル論 16名（後期開講）

【新規】あきない伝道師による支援【21,606千円】

- 商店街・問屋街等の集客力・販売力等の向上に向けて、キーパーソンや専門家を「あきない伝道師」として派遣し、成果事例や経験の伝承、実践的な取組を支援。

取組実績（30年度）

- あきない伝道師派遣：6団体 計10回（9月末現在）

【新規】商店街振興ふるさと寄附金

- 商店街等の振興のためのふるさと寄附金制度を創設し、寄付者に対して「大阪市あきないグランプリ」受賞店舗のごだわりの記念品を贈呈することにより魅力発信や愛着を醸成（30年10月創設）

■ ものづくり操業環境の改善等

市内工場用地及び貸工場情報の提供事業

- 宅建事業者と連携し、市内における工場用地等の情報をインターネット上で提供。

取組実績（29年度）

- 情報提供数：5件、協力宅建事業者数：4件

■ ものづくりに関する情報発信

大阪テクノマスター事業【1,916千円】

- 高度な技術、光る技術を持った、ものづくり中小企業の情報等を発信。

取組状況（29年度）

- 大阪市のものづくり産業を支えている技能者の中から、卓越した技能等を有する9名の方を「2017年度大阪テクノマスター」として認定。

※事業名称横の金額は平成30年度予算額

方向性① 世界と繋がった「イノベーション・エコシステム」の構築

■ 人材発掘・イノベーション支援、国際展開等

グローバルイノベーション創出支援事業【189,862千円】

- 「大阪イノベーションハブ（OIH）」において、グローバルな事業の創出につながる各種イベント（アイデアソン、ハッカソン、ピッチイベント、大企業とのオープンイノベーションイベントなど）の実施。
- 創業期ベンチャー成長推進のため、先輩起業家のアドバイスや、大企業・シードアクセラレーター（ベンチャー企業を育成する投資家）等との連携機会を提供。
- グローバル志向の起業家を増やすため、事業の立ち上げに必要な基本的なノウハウの提供のほか、香港・深センなど海外での実践的研修を受ける機会を提供。
- 取組の成果や創出されたプロジェクトのプロモーションの一環として、国際イノベーション会議「Hack Osaka」を開催（基調講演、パネルディスカッション、インターナショナルピッチコンテスト、Startup Show Caseなど）。

取組実績（29年度）

- ・OIHへの来場者数：17,385人
- ・事業化プロジェクト創出支援件数：55件
- ・国際イノベーション会議（30年2月）参加者数：684人
- ・グローバルイノベーションファンドへの出資（26年）

■ 産学連携による研究開発の推進

イノベーション創出支援補助金等【13,564千円】

- ・大阪市内に事業所のある企業又は個人と連携する大学を対象とし、大学の研究・技術シーズをもとにした企業等との共同研究開発に対して補助するなど、産学連携を推進。

取組実績（29年度）

- 採択事業数：7件

方向性② 成長分野におけるリーディング企業・新事業の創出

■ 新事業展開への挑戦支援

大阪トップランナー育成事業【70,792千円】

- ・実現性や成長性等が期待できるプロジェクトを発掘・認定し、認定したプロジェクトに対して、市場投入から販路拡大まで、担当コーディネータが伴走し、各段階の課題に応じたオーダーメイド型の継続的サポートを実施。

取組実績（29年度）

- プロジェクト新規認定件数：10件

■ 販路開拓等の支援

ATCエイジレスセンター事業【360,241千円】

ATCグリーンエコプラザ事業【214,540千円】

- ・「介護・福祉・健康分野」や「環境・エネルギー分野」に関する製品・サービスの常設展示場を運営。

取組実績（29年度）

- ATCエイジレスセンターへの出展企業 69社、ビジネスマッチング 791件
- ATCグリーンエコプラザへの出展企業 84社、ビジネスマッチング 587件

方向性③ 大阪の強みを活かした課題解決型イノベーションの創出

■ 創業支援、商品・サービス開発に向けた実証事業の支援等

IoT・ロボットテクノロジー（RT）関連ビジネス創出事業【37,503千円】

- ・技術に関する基礎知識からビジネスモデル構築まで、IoTビジネスに必要なメソッドを学べる約4か月間のプログラムの提供とともに、専門コーディネータによるハンズオン支援や先輩起業家からのメンタリングを実施。
- ・ATCや舞洲スポーツ施設を実証実験フィールドとして提供し、効果的な実証実験となるようコーディネートを実施。

取組実績（29年度）

- 創業支援メニュー受講者：20チーム（44名）
- 創業支援メニューにより創出されたビジネスプラン：19件
- 創業プログラムによる新規創業件数：3件（28、29年度の2年間）
- 実証実験の実施件数：8件

■ 創業・起業支援、人材の育成

ソフト産業プラザ事業【121,651千円】

- ・IoTやロボットテクノロジー等の先端技術を活用したビジネスの創出に向けて、インキュベーションオフィス等の提供や、常駐スタッフによるサポートを実施し、創業期の企業を育成
- ・人材育成を図るため、セミナー・ワークショップ等を実施。

取組実績（29年度）

- ソフト産業プラザへの入居数：18室
- セミナー・ワークショップ開催件数：87件

大阪デザイン振興プラザ事業【196,109千円】

- ・創業間もないデザイナーの育成を図るため、インキュベーションオフィスの提供やセミナーの開催、常駐スタッフが各種サポート。
- ・デザインビジネスにおける人材育成を図るため、セミナーや展示会等を実施。

取組実績（29年度）

- 大阪デザイン振興プラザへの入居数：32室
- 総来場者数 54,640人、セミナー・展示会等開催回数 28回

■ 高付加価値化の支援

クリエイティブ産業創出・育成支援事業【93,925千円】

- ・クリエイター同士やものづくり企業等の異業種企業の協働を促進し、高付加価値な製品・サービスの創出を図るため、ビジネスマッチング等を実施。

取組実績（29年度）

- クリエイターの新規紹介件数：153件
- ビジネスマッチングイベントの回数：10回
- プロデューサー人材育成セミナー実施件数：18件

■ 産学連携の推進

市立大学との連携強化に向けたスタートアップ支援事業【1,000千円】

- ・行政課題・都市課題の解決を通じて大阪の成長に貢献するため、市立大学が有する知見の活用やシンクタンク機能を発揮。

取組状況（29年度）

- 29年2月に締結した基本協定に基づき、本格事業化に至った件数：1件

方向性④ イノベーションを生み出すビジネス環境整備

■ 特区制度等の活用・推進によるビジネス環境整備

特区制度（国家戦略特区、国際戦略総合特区）の推進【1,374千円】

- ・国家戦略特区を活用して、健康・医療等の国際的イノベーション拠点の形成とチャレンジする人材の集まるビジネス環境を整備。
- ・関西イノベーション国際戦略総合特区を活用して、大阪駅周辺及び夢洲・咲洲地区において、ライフ・グリーン分野における各種支援措置等を実施。
- ・新エネルギーやライフサイエンスに関連する先進的な事業を行う企業が特区区域に進出する場合の地方税の特例制度（地方税ゼロ制度）を実施。

取組実績（29年度）

- 関西圏国家戦略特区：区域計画の認定1件 新たな措置にかかる提案1件
- 地方税ゼロ制度創設以降（24年12月～）、10事業者を認定
- 関西イノベーション国際戦略総合特区における地方税軽減措置の延長を実施（主な対象地域：大阪駅周辺、夢洲・咲洲、阪神港など）

■ イノベーション創出環境の向上

イノベーション拠点立地促進助成事業【120,517千円】

- ・イノベーションやベンチャー企業等の成長を生み出す民間のプラットフォーム整備を促進する新たな助成制度を実施。

取組状況（29年度）

- 29年7月から募集開始 事業計画承認件数 7件（29年度末）

■ 企業等の進出支援

企業誘致推進・プロモーション事業【81,403千円】

- ・「大阪外国企業誘致センター（O-BIC）」等と連携し、セミナーやウェブサイト等により投資環境などの情報を発信、投資有望企業等の情報収集やアプローチを実施。
- ・大阪への進出を検討する企業の相談窓口の運営、大阪進出準備のための無料オフィスの提供、土地物件情報の提供など、大阪への進出に必要なサポートを実施。

取組実績（29年度）

- ウェブサイト等での情報発信、無料オフィスの提供
- 立地プロモーションセミナー（30年1月：東京、30年3月：大阪）、臨海部現地プロモーション（30年3月）

■ 実証事業の推進、新事業展開の支援

「実証事業都市・大阪」の実現に向けた実証事業推進の支援

- ・先端技術等の事業化に不可欠な実証事業を促進し、新事業開発を加速するため、大阪商工会議所との包括提携協定を29年2月に締結し、市有施設の活用等を支援。

取組状況（29・30年度）

- 協定に基づく実施件数：5件（29年度末）
- 大阪城公園における実証事業の提案募集（30年7月～）

地域未来投資促進法にかかる基本計画の策定

- ・地域経済を牽引する新事業等を促進する「地域未来投資促進法」に基づき、市として基本計画を策定し、市内での新事業展開を促進する事業環境を整備。

取組状況（29年度）

- 国の同意を得て、第一陣として本市基本計画を策定（29年9月）

■ 情報発信

姉妹都市ネットワークを活用した経済交流の推進【13,815千円】

- ・大阪が持つ強みを広く海外に発信するため、姉妹都市等とのネットワークを戦略的に活用し、表敬訪問やプロモーションセミナーなどを通じた市長等によるトップセールスを実施。

取組実績（29年度）

- 経済ミッション等の派遣：ミラノ（6月）、上海（7月）、ハンブルク（11月）

戦略Ⅲ 観光地域まちづくりによる交流人口・ビジネスマーケットの拡大と新たなビジネスチャンスの創出

方向性① 戦略的なMICE誘致

■ MICE誘致の推進

MICE誘致の推進

- MICEの開催を通じた観光消費の拡大を図るとともに、大阪に集積する産業分野を活かしたビジネスやイノベーションの機会を創出するため、関係者の意見も踏まえ、具体的な誘致を進めるための方針に基づき、大阪府、経済界、大阪観光局と連携して戦略的にMICE誘致を推進。

取組実績（29年度）

- 府・市・経済団体と連携し大阪MICE推進委員会を立ち上げ（5月）、同委員会を2回開催（5、12月）

- G20サミット首脳会議開催決定（30年2月）

※ MICE(マイス)

…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentivetravel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition／Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

■ 夢洲まちづくり構想の推進

- 夢洲において、MICE機能や国際的なエンターテインメント機能等を備えた統合型リゾート（IR）の誘致など、民間の創意・工夫や意見を取り入れながら、国際観光拠点の形成に向けた取組を推進。

取組実績（29年度）

- 29年8月「夢洲まちづくり構想」策定

■ 2025日本万国博覧会大阪誘致推進事業【146,779千円】

- 2025年国際博覧会の大阪・関西の誘致に向けて、地元自治体として、国内機運醸成や、BIE（博覧会国際事務局）加盟国の支持を得るための海外誘致活動等について、大阪府や経済界と一体となって取り組む。

取組状況（29年度）

- 立候補の閣議了解及び博覧会国際事務局（BIE）への立候補表明（29年4月）
- 誘致ロゴマークを活用した機運醸成（29年6月～）
- BIE総会やアスタナ博等におけるプレゼンテーション（29年6月～）
- BIE総会におけるプレゼンテーション（29年11月）
- BIE調査団におけるプレゼンテーション（30年3月）

■ インテックス大阪の運営、機能維持・向上等【249,992千円】

G20サミット首脳会議開催に向けたインテックス大阪の設備改修【236,080千円】

- 大規模見本市・展示会等の誘致により、交流人口・ビジネスマーケットの拡大と新たなビジネスチャンスの創出を図るため、会場となる施設（インテックス大阪等）の機能維持・向上を実施
- G20サミット首脳会議の開催が決定したことを踏まえ、会場として、施設の機能維持を着実に図るため、必要な設備改修（空調設備・消防設備）を実施

取組実績（29年度）

- インテックス大阪の機能維持・向上のための工事の実施（中央監視設備・自動火災報知設備 など）

方向性② 戦略的な観光地域まちづくりの推進

■ 観光マーケティング・リサーチの強化

大阪観光局事業【320,000千円】

- 「大阪版DMO」として、マーケティング機能の向上やDMO戦略の策定、地域と一体となった観光地域づくり等、大阪の観光振興の司令塔としての役割を果たすための機能を強化。

取組実績（29年度）

- 大阪観光局が「日本版DMO」に登録（29年11月）
- 大阪観光局DMO戦略に沿った試行実施（戦略的マーケティング機能の強化等）
- 「大阪観光局(DMO)の推進に関するトップ会議」の開催により、府市経済界トップの意見交換を実施。（29年12月）

■ 世界第一級の文化・観光拠点形成・発信

大阪城エリア観光拠点化事業【18,933千円】

- 大阪城公園の世界的観光拠点化に向けて、27年度に導入した大阪城公園PMO事業を推進し、民間活力を活用した公園の新たな魅力を創出。
- 豊臣期に築かれた初代大坂城の石垣を掘り起し、公開する施設を整備。

取組実績（29年度）

- PMO事業者による運営事業の管理等を行い、各種魅力向上事業を進め、観光拠点化を推進（既存施設（もと大阪市立博物館）を改修し、「MIRAIZA OSAKA-JO」開業。大阪城公園駅前エリアに新規施設「JO-TERRACE OSAKA」開業。）
- 大阪城天守閣入館者数の最多記録を更新（年間約275万人）。
- 豊臣石垣公開施設の建築・展示の実施設計に着手。

天王寺公園・動物園の魅力向上事業【171千円】

- 天王寺公園・動物園を核に、周辺地域と連携して、天王寺・阿倍野地区の魅力発信・集客促進の取組を進め、地区全体の集客力強化とブランド力向上を推進。
- 天王寺公園・動物園において、ハード・ソフト両面からの魅力向上の取組を推進。

取組実績（29年度）

- 民間活力を導入した「天王寺公園エントランスエリア（てんしば）」のにぎわい創出（29年度集客数約420万人）
- てんしばゲートエリアの再整備と動物園の飲食・物販等サービス事業を包括的に実施する民間事業者を選定（29年11月）

新しい美術館の整備事業【590,507千円】

- 大阪市が所蔵する第一級のコレクションを活用し、2021年度の開館をめざして、中之島での新美術館の整備に向けた取組を推進。

取組実績（29年度）

- 「Artrip Museum大阪新美術館コレクション」HPで整備計画の進捗を発信(30年2月)
- ・実施設計業務に着手(29年12月、業務委託契約締結)
- ・文部科学省の委託事業により公共施設等運営権制度によるPFI導入可能性調査を実施(30年3月完了)

水と光のまちづくり推進事業【35,500千円】

大阪・光の饗宴事業【179,939千円】

- 「水と光の首都大阪」の実現をめざし、水の回廊を船が行き交い、内外の人々が水辺に集い憩う水都大阪の修景づくり、水辺の魅力創出、「大阪・光の饗宴」の充実など水と光のまちづくりを推進。

取組実績（29年度）

- 舟運利用者数：約120万人（目標90万人）
- 大阪・光の饗宴2017 総来街者数：約1,367万人
- エリアプログラム（民間主催の光のプログラム）：19団体・23プログラムと連携

■ エリアブランドの向上

大阪市版TIDモデル創出事業【8,000千円】

- 地域自らが行う観光地域まちづくりの仕組みである「大阪市版TID（Tourism Improvement District：観光産業改善地区）」の構築をめざし、モデル創出に向けた調査を実施。

取組状況（29年度）

- 有識者による大阪市版TID制度検討会を設置し、計4回開催（8月、10月、12月、2月）
- 先進事例調査として、米国サンフランシスコ市の事例調査を実施（10月）

■ 国際的なスポーツイベントの開催

スポーツ競技大会の開催【19,200千円】

- スポーツ都市としての大阪のブランド力を高めるため、注目度の高い国際的なスポーツイベントや合宿を誘致。

取組実績（29年度）

- 世界スーパージュニアテニス、国際ユースサッカー大会を開催、大阪城トライアスロン大会

大阪マラソンの開催【115,000千円】

- 大阪マラソンの魅力向上に向け、世界トップレベルの市民マラソンをめざすためのさらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進。さらに第9回大会からのセントラルフィニッシュを含めたコース変更の検討調査を実施。

取組実績（29年度）

- 第7回大会の開催：29年11月26日（大会当日出走数 32,008人、大会当日コース沿道観衆 130万人）
- コース変更に伴う検討調査を実施

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向けた取組【7,475千円】

- 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向けて、大規模なスポーツ大会の開催時に合わせて、一般参加型のスポーツイベントの開催による機運醸成の取組を推進。

取組実績（29年度）

- 市長杯大会に「関西マスターズスポーツフェスティバル」の冠をつけ、大会当日にのぼりやポスター、ちらしを配置することによる機運醸成を実施

■ プロスポーツとの連携による市場拡大等

舞洲スポーツ振興事業（舞洲プロジェクト）【21,000千円】

- プロスポーツチームと連携し、都市魅力の発信・観光振興につながるまちづくりの取組や、新たな事業創出などスポーツ関連市場の拡大に向けた取組を推進。

取組状況（29年度）

- 大阪市とプロスポーツ3チーム（大阪エヴェッサ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪）を中心に舞洲スポーツ振興事業を開始。
- ポータルサイトの開設やオウンドメディアの展開、舞洲及びプロスポーツチームの課題に対する有望提案の選定、イベントの実施やボランティアの育成などの取組を実施。